



特集

北上の地域医療

かかりつけの小児科で診察を受ける八重樫
 華奈ちゃん(2歳)。
 顔なじみの先生と看護師さんは、ささいな
 変化も見逃さないで安心です。

■主な内容:

◎北上の地域医療 2頁

◎子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ 8頁

◎中部病院へのアクセス 6頁



◎特集

北上の地域医療

安心して医療を受けるために

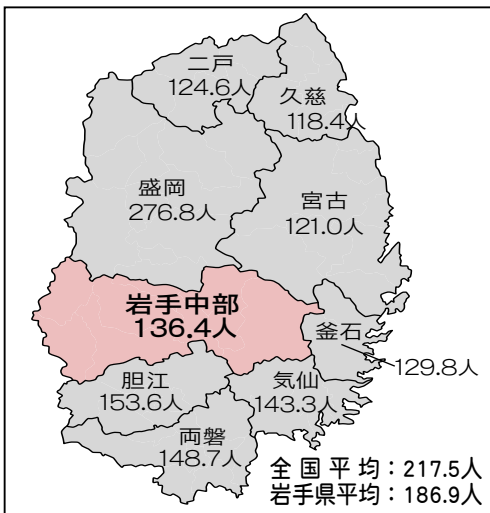


本特集の企画に際して北上医師会のご協力をいただいています

(写真＝県立中部病院の入口付近。2月9日撮影)

※中部病院見学会の募集案内を21頁に掲載しています。

人口10万人当たりの医師数 (平成18年12月)



厚生労働省の調査によると、人口10万人当たりの医師数は、

**慢性的な
医師不足**

今年4月、北上病院と花巻厚生病院が統合し、村崎野に県立中部病院が開院します。新病院は、北上市、花巻市、遠野市、西和賀町をエリアとする岩手中部医療圏の基幹病院に位置付けられ、がんや脳卒中、急性心筋梗塞などの高度医療や救急医療機能が充実します。また、災害発生時には地域災害拠点病院としての機能も担います。

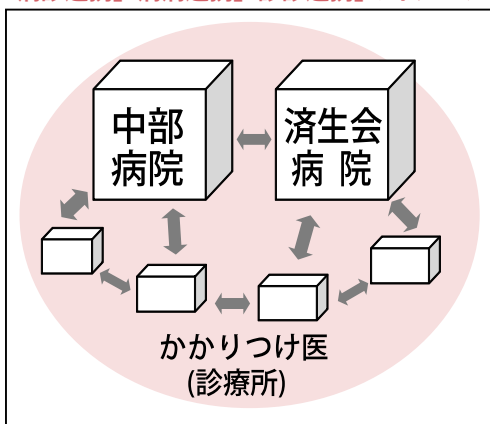
**県立中部病院が
オープン**

北上地域でこれからも安心して医療を受けるため、また、病院の高度医療機能を十分に

**安心して医療を
受けるために**

全国平均217・5人に対し、岩手県は186・9人。新病院がエリアとする岩手中部医療圏は136・4人で、県平均の医師数を下回っています。中部病院が開院することにより、最先端の高度な医療を受けることが可能になります。しかし、地域の医師の数が劇的に増えるわけではありません。北上地域で安心して医療を受けるために、わたしたちの医療機関へのかかりかたを見直すべきときに来ています。

「病診連携」「病病連携」「診診連携」のイメージ



病院と診療所が互いに連携を取り合いながら、患者さんに最も適した医療の提供を目指しています

地域の医療を守るためには、わたしたち一人ひとりの心掛にかかっています。

發揮するためには、病院と地域の診療所(開業医)が役割分担をする「病診連携」を進めることが重要となります。具体的には、軽度の症状や初期診療はかかりつけ医(診療所)で診療を受け、必要とあれば大きな病院へ紹介してもらうことができます。また、北上地域では「診診連携」、病院同士が連携を取る「病病連携」の取り組みが進んでいます。この取り組みを有効的に活用することで、より良い医療を受けることができます。

北上医師会

病院との連携体制の構築

北上・西和賀地域の病院勤務医と開業医で構成する北上医師会(大内怜次郎会長)では、ここ数年にわたり地域医療連携患者さんのために開業医、病院が協力し合うことをどのように強化するかを検討してきました。

その結果、地域の皆さんに安心して医療を受けていただくために、北上病院、北上済生会病院、花巻厚生病院、総合花巻病院の4病院と北上、

地域医療を守るための5つのポイント

1 「かかりつけ医」を持ちましょう



軽症の患者さんはかかりつけ医で診察を受けましょう。重症と思われるときも初めはかかりつけ医で診てもらい、必要とあれば大きな病院へ紹介してもらいましょう。開業医と病院は連携を組んでいます。紹介された方がスムーズに診療が進みます。

大きな病院で治療を受け症状が安定した後は再度かかりつけ医に逆紹介してもらうこともできます。



2 「コンビニ受診」は止めましょう

日中に受診ができるのにもかかわらず、自分の都合で夜間に病院を受診するようなコンビニ的夜間受診は止めましょう。



3 「里帰り出産」は余裕を持って

産科医不足により「里帰り出産」が困難なことがあります。あらかじめ産科開業医、病院で確かめましょう。

4 「小児夜間救急」はかかりつけ医に相談を



小児夜間救急を利用するときは、かかりつけ医に相談してからにしましょう。

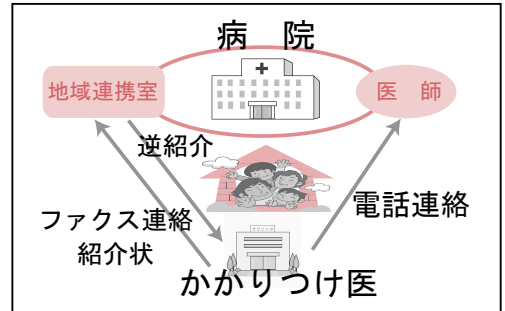
岩手県小児救急電話相談(☎019-605-9000 または#8000、受付時間:午後7時~11時)も活用しましょう。

5 「夜間が不安」な人は主治医と相談を



治療中の人で特に夜間に不安を持たれる人はあらかじめかかりつけ医に相談し、もしも場合の対処方法を指導してもらいましょう。

紹介システムのイメージ



花巻市の開業医との間でのスムーズな紹介システム(4病院内の地域連携室との連絡網)を作り上げ、平成19年から運用を開始しています。



医師や看護師、事務職員を交えて開催している医療安全講習会

医師の知識・技能向上

医師会では、会員医師の知識・技能向上を目指すため、医学集談会という勉強会を毎月開催しています。また、医療事故の防止と安心医療を提

供するために、医療安全講習会を医師や医療に携わる職員全員で受けています。

社会貢献活動

市民公開講座の開催、地域産業保健センター事業への参加、学校保健、産業界活動、スポーツ行事、災害訓練への医師派遣など地域の要請に答えられるよう努めています。また、歯科医師会、薬剤師会と共に「医歯薬懇談会」においては、子どもの喫煙防止についての啓発活動も行ってきました。

市民の健康を守る検診事業では、市とともに健康診断やがん検診などの集団・個別検診に積極的に参加し、大きな成果を挙げています。また、北上医師会のホームページでは、休日当番医や各医療機関を案内しています。



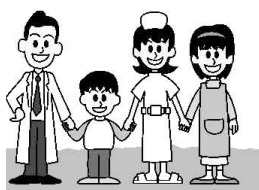
北上医師会ホームページ
(<http://www.iwate.med.or.jp/kitakami/>)

北上済生会病院



◎診療科(17科)

内科
 神経内科
 呼吸器科
 消化器科
 循環器科
 小児科
 外科
 整形外科
 脳神経外科
 呼吸器外科
 心臓血管外科
 泌尿器科
 産婦人科
 眼科
 耳鼻咽喉科
 麻酔科
 リウマチ科



昭和3年に黒沢尻町内有志により設立された黒沢尻病院が、11年に済生会に寄付され済生会病院として再出発。50年には現在の「社会福祉法人 恩賜(おんしざいだん)済生会 北上済生会病院」となりました。

以来、明治天皇の「済生勅語」による「済生」(生きることを助ける)の心を受け継ぎ、保健・医療・福祉の充実と発展を目指し、北上地域の保健医療の向上のために大きな社会的役割を果たしてきました。

病院の役割・目標

県立中部病院の4月開院に備えながら、各診療科とのバランス・兼ね合いを考慮しています。また、地域中核病院として地域の皆さんの要望に積極的に応え、信頼される病院となるべく良質な医療の提



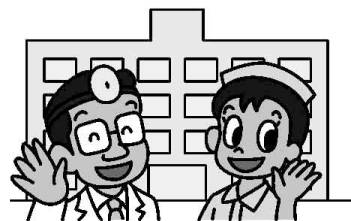
N I C U (新生児集中治療室)

供を目指しています。

「寛容の精神で、患者さんのために親切な医療を行います」という「基本理念」のもとに、救急医療、周産期医療・NICU(新生児集中治療室)をはじめ、一般各診療科の治療を行います。

新たに整備する診療機能

21年度には、リハビリテーション科を開設し、回復期リハビリテーションセンターを6階病棟に設置する予定です。



リハビリテーションセンター

最近の医学・医療の急速な進歩により、より高度の技術が必要とされる時代になりました。しかも一つの施設だけでは、こうした多様な需要に応じ切れません。現在問題になっている医師の不足もありますので、どうしても地域の各医療機関とのチームプレー、いわゆる「病病連携」「病診連携」が必要となります。

医療機関同士が互いに連絡を取り合って、重症の患者さんに対しては得意な分野の役割分担を行い、十分な、そして適切な治療を行うっていく覚悟です。

「来て良かったと思っていただける病院」を目指し、地域の皆さんの健康増進・疾病予防・質の高い医療を提供するため、職員一同頑張っています。



齊藤 和好 病院長

県立中部病院



病院の役割・診療機能

がんや脳卒中中、急性心筋梗塞などの診断・治療のほか、夜間・休日などの救急患者や災害時の医療に関する機能を強化し、主に急性期や重症の患者さんの入院治療を中心に行います。

病床数は434床（一般390床、結核20床、緩和ケア24床）。診療科は現在の北上病院と花巻厚生病院の診療体制をさらに強化できるような関係機関と相談を重ねています。

新しい設備として、がんの患者さんが安心して療養できる環境を整えた緩和ケア病棟、特殊な薬剤を注射してがんを見つける検査診断装置（PET）などを整備しました。建物は地震の揺れを抑える免震構造としているほか、救急搬送のためのヘリポートを設置しました。

診療開始の時期

現在、4月の開院に向けて医療器械の設備や調整、職員訓練などを続けています。中部病院への移転のため、北上病院と花巻厚生病院は3月27日（金）から休診します。

院内の器材を搬送するため3月27日から4月2日（木）までは救急患者の受け入れもできませんので、ご了承願います。なお、中部病院での外来診療や救急患者受け入れは4月3日（金）から開始します。

中部病院へのQ&A

Q 現在使っている診察券は中部病院でも使えますか？

A 現在お使いになつていられる診察券はそのままお持ちください。必要に応じて新しい診察券と交換します。

Q 紹介状は必要ですか？

A ぜひ、紹介状をお持ちください。紹介状をお願いします。

Q 緩和ケア病棟はどういう病棟ですか？

A がんの治療には、手術や放射線治療、抗がん剤による治療と、痛みなどの症状をコントロールして、患者さんやご家族が良好な生活を送れるようにサポートする緩和ケア療法があります。在宅ケアや通院医療ではなかなか取れない痛みなどの症状の緩和を目的とした専用の病棟を一般病棟とは別棟に整備しました。

◎診療科(26科) ※予定

- 内科
- 神経内科
- 血液内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 腫瘍内科
- 糖尿病・代謝内科
- 精神科
- 小児科
- 外科
- 乳腺外科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 形成外科
- 呼吸器外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 放射線科
- 心療内科
- リハビリテーション科
- 麻酔科
- 病理診断科



4月の開院に向け、動きの確認をする病院職員